

## 個展「西川勝人」開催について



「Ridge」2016



「Iconography」1986/2013

西川勝人の作品は、変わらない。変わらないというよりも一貫していると言うべきか。絵画、素描、彫刻とさまざまな形態の作品を作ってきたがそこには常にある種の美的洗練が貫かれている。それは十分な時間を過ぎて、この年齢になって今日の前に積み上がられている作品と資料を俯瞰してみると、つくづく理解できる。しかしそのあまりにもかそけき美学に名前をつけて呼ぶことが可能なのだろうか。

南條史生（森美術館館長）

この度、ART OFFICE OZASA では、西川勝人の個展を開催いたします。

1949年、東京生まれの西川勝人は、慶應義塾大学卒業後に渡欧し、ドイツのミュンヘン美術大学、デュッセルドルフ美術大学大学院を修了、ヨーロッパを中心に活動を始めます。

1981年、ミュンヘン・レンバッハハウス美術館・クンストフォルムで初個展を開催。その後、ヨーロッパ、日本を始め、世界の各都市で展覧会が開催されています。

また、第45回ヴェネチア・ビエンナーレ・アペルト（1988）、東京国立近代美術館「現代美術への視点、一色彩とモノクローム」（1989）、第21回サンパウロ・ビエンナーレ（1991）、第6回ヴェニス国際建築展（1996）、第9回ヴェニス国際建築展（2004）、釜山ビエンナーレ（2006）、アンジェ美術館「Neige de Silence」（2009）、ARTE ストラスブール「Traces」（2012）、森美術館「シンプルなかたち」（2015）など国際的な展覧会にも数多く招待されています。

1994年以来、西川はデュッセルドルフ近郊のノイス市にあるインゼル・ホームブロイヒ美術館の活動に参画し、美術館に隣接したアトリエを拠点に創作活動を続け、デュッセルドルフ市文化奨励賞を受賞、現在はハンブルグ美術大学名誉教授として後進の指導にもあたっています。

その豊かな自然が眼前に広がる明るく開放的なアトリエで制作される作品は、彫刻、立体、絵画、ドローイングなど多岐にわたり、特に自然のもつ有機的なフォルムを感じさせる彫刻作品を数多く制作し、日本では、東京国立近代美術館、川村記念美術館などに作品が収蔵されています。

また建築との融合や空間性を伴った公共美術も数多く手掛け、横浜金沢ハイテクセンター、新宿アイランドタワー、霧島アートの森、大手町ファイナンシャルシティなどでその作品を目にすることができます。

京都での初個展となる今回の展示では、西川がアトリエを構えるインゼル・ホームプロイヒ美術館の所在する湿地帯の写真を紙にプリントし、オイルを塗布した後に研磨する西川独自の技法「フォト・エグリゼ / Foto égrisée」(ドイツ人の美術評論家 Hans Irrek により命名)を中心にブロンズ、油彩なども合わせて紹介します。

また本展にあわせ刊行する展覧会カタログには、森美術館館長の南條史生氏に「超越する時間」を寄稿して頂きました。そのテキストの一文を本プレスリリースの冒頭にてご紹介させていただきます。

本展は、永きに渡りヨーロッパで活動を続けてきた西川勝人の日本初公開作品を始め 20 点余で、その一貫した制作姿勢をご覧いただける貴重な機会となります。

静謐な中にも鮮やかで豊かな表情を見せる作品を体験しに、秋の京都に足をお運びいただき、ご高覧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ART OFFICE OZASA

---

**【展覧会概要】**

<名称> 西川勝人

<会期> 2018年11月17日(土)～12月22日(土)

<会場> ART OFFICE OZASA 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207(西陣織会館西館)

<時間> 火曜日～土曜日 午前11時～午後6時 日月祝祭休み

**【主な展示作品】**

<平面作品>

「Ridge」 pigment print, framed 2016 20.2 x 26.6 cm

「Hombroich」 foto égrisée 2001 I: 13.7 x 18.5 cm F: 47.0 x 47.0 cm

<立体作品>

「Iconography」 bronze, painted 1986/2013 21.5 x 6.0 x 6.0 cm

**【問合わせ】**

株式会社 ART OFFICE OZASA

〒602-8216 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207

電話: 075-417-4041

メール: mail@artozasa.com

HP: www.artozasa.com

## 西川勝人

1949 東京生まれ  
 1972 慶應義塾大学卒業  
 1973 渡欧  
 1974-1976 ミュンヘン美術大学  
 1976-1980 デュッセルドルフ美術大学大学院卒業  
 現在ノイス（ドイツ）にて活動

## 個展

2018 「西川勝人」 ART OFFICE OZASA（京都）  
 2017 「Piero 24 Colors」 Martin Bohn（ケルン）  
 CONCEPT SPACE（渋川、群馬）  
 Friedrich Müller（フランクフルト）  
 2016 Friedrich Müller（フランクフルト）  
 2012 「Traces」 ARTE（ストラスブール、フランス）  
 2010 「Iconography」 横田茂ギャラリー（東京）  
 2009 「Neige de Silence」 Musée des Beaux-Arts（アンジェ、フランス）  
 Friedrich Müller（フランクフルト）  
 2008 Friedrich Müller（フランクフルト）  
 2007 「fragmentum」 Philippe Casini（パリ）  
 「Farbe als Schatten」 Krefelder Kunstverein（クレーフェルト、ドイツ）  
 2006 「Inner Courtyard of Sintra」 Philippe Casini（パリ）  
 「Mazzocchio」 Kulturforum Alte Post（ノイス、ドイツ）  
 「Nocturne」 Friedrich Müller（フランクフルト）  
 「Boundary」 横田茂ギャラリー（東京）  
 2005 「Chemins de lumière」 Philippe Casini（パリ）  
 「Nature」 Philippe Casini（パリ）  
 Friedrich Müller（フランクフルト）  
 Herbert Gerisch Stiftung（ノイミュンスター、ドイツ）  
 2005 「Ombra della luce」 Philippe Casini（パリ）  
 「Color as shadow」 Kunstraum Falkensein Elke Dröscher（ハンブルグ）  
 川村記念美術館（千葉）  
 2002 「Color as shadow」 横田茂ギャラリー（東京）  
 2001 Centre Européen d'Actions Artistiques contemporaines（ストラスブール、フランス）  
 「Color as shadow」 Philippe Casini（パリ）  
 Kulturforum Franziskanerkloster（ケンペン、ドイツ）

- 1999 「A day of life」 Philippe Casini (パリ)
- 1998 「Katsuhito Nishikawa Arbeiten 1990-1997」  
 Museum Schloss Moyland (ペートブルク=ハウ、ドイツ)
- 1997 「Konchiya」 Philippe Casini (パリ)
- 1996 「Physalis」 横田茂ギャラリー (東京)
- 1995 「Schatten weißer Räume」 Heidelberger Kunstverein (ハイデンベルグ)
- 1994 「La mort」 Allgemeines Krankenhaus (ウィーン)  
 「Passage」 Jochen Krüper、Art Cologne (ケルン)
- 1993 横田茂ギャラリー (東京)  
 「Schatten weißer Räume」 Wilhelm Lehmbruck Museum (デュイスブルク、ドイツ)  
 「MAI Furniture」 アクシスギャラリー (東京)
- 1992 Museo Comunale Galleria d'Arte Contemporanea (リミニ、イタリア)  
 Durhammer Galerie (フランクフルト)  
 「House of Season」 M + R Fricke (デュッセルドルフ)  
 「Cours Interieures de Sintra」 Carre des Arts (パリ)  
 「Haus der Jahreszeit」 Philippe Casini (パリ)
- 1991 「Inner Courtyard of Sintra」 横田茂ギャラリー (東京)  
 Galerie Heimeshoff Jochen Krüper (エッセン、ドイツ)
- 1990 「Möbel」 M + R Fricke (デュッセルドルフ)
- 1989 Philippe Casini (パリ)  
 J. Friedrich (ドルトムント、ドイツ)  
 ギャラリー・シマダ (山口)  
 Karin Bolz (ケルン)  
 Kunstraum Falkenstein Elke Dröscher (ハンブルグ)  
 Denise van de Velde (アールスト、ベルギー)
- 1988 雅陶堂 Gallery (東京)  
 Padiglione d'Arte Contemporanea (ミラノ)
- 1987 M + R Fricke (デュッセルドルフ)
- 1985 Philippe Casini (パリ)  
 M + R Fricke (デュッセルドルフ)  
 Annette Gmeiner (キルヒツアルテン、ドイツ)  
 ギャラリー・シマダ (山口)
- 1983 Schmitz & Becker (デュイスブルク、ドイツ)
- 1982 Galerie Schmela (デュッセルドルフ)  
 Städtische Kellergalerie (デュッセルドルフ)
- 1981 Kunstforum der Städtischen Galerie im Lenbachhaus (ミュンヘン)  
 Frankfurter Kunstverein (フランクフルト)

## 主なグループ展

- 2017 「ERWIN HEERICH+KATSUHIITO NISHIKAWA」 横田茂ギャラリー (東京)  
 「Open Eyes=Open Mind VI」 CONCEPT SPACE (渋川、群馬)  
 「Kunstprojekte Daniela & Cora Hölzl」 driendl architects (ウィーン)
- 2015 「Simple Forms」 森美術館 (東京)
- 2014 「INTUITION+ABSTRAKTION」 Cola & Daniela Hölzl (デュッセルドルフ)
- 2010 「IDEEN Sitzen-50Jahre Stuhl design」  
 Museum für Kunst und Gewerbe Hamburg (ハンブルグ)  
 「Raum der Stille」 Shi Fang Fine Art (デュッセルドルフ)
- 2008 「125 JAHRE KUNSTVEREIN」 KREFELDER KUNSTVEREIN (クレーフェルト、ドイツ)  
 「Clear Surface」 Kunstruimte (フローニンゲン、オランダ)  
 「Raumortlabor Hombroich」 Museum Ludwig (ケルン)  
 「Global Books」 Cité du Livre & Mejanes Library (エクス=アン=プロヴァンス、フランス)
- 2007 「Global Books」 Bibliothèque Carnegie、Médiathèque Jean Falala (ランス、フランス)  
 「Il Velo」 Il Filatoio、Caraglio (クーネオ、イタリア)
- 2006 「Busan Biennale 2006」 (釜山)  
 「8×2」 白石由子との二人展、Gesellschaft für Kunst und Gestaltung (ボン、ドイツ)、  
 Galerie Friedrich Müller (フランクフルト)
- 2005 「Raumortlabor」 Stiftung Insel Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 「Form and Farbe」 Friedrich Müller (フランクフルト)  
 「Spaceplacelab」 AIA center for Architecture (ニューヨーク)
- 2004 「Lumière naturelle」 Centre Pomel (イソワール、フランス)  
 「Quand j'en trouve」 j'en mets à la carte、Philippe Casini (パリ)  
 「Spaceplacelab, 9. International Architecture Exhibition, Venice」 (ヴェネツィア)  
 「Raum/NEST」 福澤エミとの二人展、東京パブリッシングハウス (東京)
- 2003 「Messagers de nos solitudes」 Philippe Casini (パリ)
- 2002 「Territoires inoccupés」 FRAC Auvergne (クレルモン=フェラン、フランス)  
 「Rives」 parcours en plein air (デュエー、フランス)
- 2001 「L'impureté」 Philippe Casini (パリ)
- 2000 「Die Natur der Dinge」 NRW-Forum Kultur und Wirtschaft (デュッセルドルフ)  
 「Han-Architekturmodelle + Katsuhito Nishikawa」  
 Kunstraum Falkenstein Elke Dröscher (ハンブルグ)
- 1999 「spore」 Universita degli studi Cassino (カッシーノ、イタリア)  
 「Les Champs de la sculpture II」 Avenue des Champs-Élysées (パリ)  
 「Kulturraume Skulptur seit 1970」  
 Wilhelm Lehmbruck Museum Duisburg (デュイスブルク、ドイツ)  
 「L'autre le meme」 Philippe Casini (パリ)
- 1997 「Hombroich Architecture」 Deutsches Architektur Museum (フランクフルト)

- RIBA Architecture Centre (ロンドン)  
「Un silence」 Philippe Casini (パリ)  
「Skulptur im Licht der Fotografie」 Wilhelm Lehmbruck Museum (デュイスブルク、ドイツ)  
「Stad(t)-Art」 Künstlerzeche Unser Fritz 2/3 (ヘルネ、ドイツ)  
「Photographie + Skulptur」 Kunstraum Fleetinsel Elke Dröscher (ハンブルグ)
- 1996 「Homborich Architecture, 6. International Exhibition of Architecture」 (ヴェネツィア)  
「Möbel」 Ulrich Fiedler (ケルン)  
「Radierung」 Griffelkunst (ハンブルグ)
- 1995 「Zeichnung」 M + R Fricke (デュッセルドルフ)
- 1994 「Shatkon」 Erwin Heerich との二人展、横田茂ギャラリー (東京)
- 1993 「Spirale」 Erwin Heerich and A.D. Christian との三人展、  
Ausstellungsgesellschaft für zeitgenössische Kunst Zollverein (エッセン)  
「Oro D'autore」 Basilica Inferiore di San Francesco (アレツォ、イタリア)  
「Sculpture Triennale Korea」 Walker Hill Art Center (ソウル)
- 1992 「Mobiles」 M + R Fricke (デュッセルドルフ)  
「Das Ei des Columbus」 Rathaus Fellbach (フェルバッハ、ドイツ)
- 1991 「Interrelations & Migration」 The Queens Museum of Art (ニューヨーク)  
「XXI Bienal Internacional de Sao Paulo」 (サンパウロ)  
「Des Usages à la Couleur」 École Régional des Beaux-Arts (レンヌ、フランス)
- 1990 「Blau Farbe der Ferne」 Heidelberger Kunstverein (ハイデルベルク)  
「Japanische Kunst der achtziger Jahre」  
Frankfurter Kunstverein (フランクフルト)、Bonner Kunstverein (ボン、ドイツ)  
Museum moderner Kunst (ウィーン)、Bregenzer Festspiele (ブレゲンツ、オーストリア)
- 1989 「Heerich Nishikawa Christian」 横田茂ギャラリー (東京)  
「4. Triennale Kleinplastik」 (フェルバッハ、ドイツ)  
「Color and/or Monochrome」 東京国立近代美術館 (東京)、京都国立近代美術館 (京都)  
「On Kawara/Again and Against」 ICA 名古屋 (名古屋)  
「Julius / Nishikawa」 Japanisches Kulturinstitut (ケルン)
- 1988 「Farbe + Raum」 Kunstraum Falkenstein Elke Dröscher (ハンブルグ)  
「Aperto 88」 La Biennale di Venezia (ヴェネツィア)
- 1987 「Bundesgartenschau」 (デュッセルドルフ)  
「Synopsis」 Cora Hölzl (デュッセルドルフ)
- 1986 「Christian Nishikawa Sauer」 Gatodo Gallery (東京)  
「Das andre Land」 Schloss Charlottenburg (ベルリン)
- 1985 「Abstract Sculpture and Drawings」 ギャラリー・シマダ (山口)
- 1984 「Auberger Nishikawa Sauer」 De Zaak (フローニンゲン、オランダ)
- 1983 「Natur Zeichen Raum」 Skulpturenpark Seestern (デュッセルドルフ)
- 1982 「(0211)」 Kunstmuseum Düsseldorf (デュッセルドルフ)
- 1981 「Junger Westen 81」 Kunsthalle Recklinghausen (レックリングハウゼン、ドイツ)
- 1979 「Perspektive 2」 Kunstverein Düsseldorf (デュッセルドルフ)

- 1977 「Plastische Versuche」 Rheinisches Landesmuseum (ボン、ドイツ)  
 「Klasse Heerich」 Kunstmuseum Düsseldorf (デュッセルドルフ)

## プロジェクト

- 2002- 「Raumortlabor/spaceplacelab」 Stiftung Insel Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 2011-2013 「Moon of Nagano」 (長野)  
 2009-2012 「Spiritual wall with certain surface」 (東京)  
 2010 「NF Furniture」 Martin Bohn editionformform (ケルン)  
 2003-2007 「Field Institute Hombroich」 Raketenstation Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 2002-2007 「Klostergarten Hombroich」 Raketenstation Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 1999-2006 「Physalis Partitura」 Hopital Claude Huriez、  
 Centre Hospitalier Régional Universitaire de Lille (リール、フランス)  
 2005-2006 「Sea of Busan」 (釜山)  
 2004-2005 「Klee / Floating Clover」  
 Herbert Gerisch Stiftung (ノイミュンスター、ドイツ)  
 1998-2003 「TANIT」 (東京)  
 2000-2001 「Aqua」 Parc de Wesserling (アルザス、フランス)  
 1999-2001 「Field Institute Hombroich」 白石由子、川俣正との共同制作、  
 Raketenstation Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 「Physalis hanging」 Casse de Dépôts et Consignations (パリ)、  
 Musée de la Chartreuse (デュエー、フランス)  
 1998-2001 「Physalis Magnolia」 霧島アートの森 (鹿児島)  
 1996-2001 「Tilapia」 Raketenstation Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 1994-2001 「Kreisbank / Circle Bench」 (ケンペン、ドイツ)  
 1999-2000 「Placement-replacement」 Wilhelm Werhahn KG (ノイス、ドイツ)  
 1998-1999 「Tafelrunde」 Raketenstation Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 1997-1998 「Crescent Staircase」 株式会社大林組本社 (東京)  
 1996-1998 「Physalis in the Water」 博多リバレイン (福岡)  
 1996-1997 「Spiegelung, Yunus I」 国土交通省 (柏)  
 1994-1995 「Wachturm/Kompass/Kaledoskop」 Oliver Kruse との共同制作、  
 Raketenstation Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 「one-man house」 Oliver Kruse との共同制作、  
 Raketenstation Hombroich (ノイス、ドイツ)  
 1993-1994 「Yunus II」 新宿アイランドタワー (東京)  
 「Yunus III」 Fachhochschule Niederrhein (メンヒェングラートバッハ、ドイツ)  
 「NEST」 福澤エミとの共同制作、MAI Société Anonyme (東京)  
 「RS Studio」 Oliver Kruse との共同制作、  
 Raketenstation Hombroich (ノイス、ドイツ)

- 「Trikona」 Erwin Heerich との共同制作、Wilhelm Lehmbruck Museum (デュイスブルク、ドイツ)
- 1991-1994 「Plaza/Open Space」 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア (横浜)
- 1992-1993 「Lotus」 Wilhelm Lehmbruck Museum (デュイスブルク、ドイツ)
- 1991-1993 「Spirale」 Abraham David Christian、Erwin Heerich との共同制作、  
Ausstellungsgesellschaft für zeitgenössische Kunst Zollverein (エッセン、ドイツ)
- 1992 「Vase」 The privilege golf club (成田)
- 1991 「Minerva」 Polizeidienstgebäude (マール、ドイツ)
- 1989 「No」 Fukuyama sculpture project (福山)
- 1987 「Der Wald」 Südpark (デュッセルドルフ)
- 1981 「Vogelhaltestelle」 Skulpturenpark Seestern (デュッセルドルフ)